

Overview: バビロンの原則は偽善、自分自身をやもめと考えず、自分自身に栄光を帰し、ぜいたくに生きることの原則、遊女の原則です。私たちは自分の思いの中にいる時、バビロンの原則の中にいます。私たちは霊の中にいる時、今日のエルサレムにおり、その中に神聖な一があります。中途半端で絶対的でないものは何であれ、バビロンと呼ばれ、神はそれを憎みます。神のために絶対的であること(全焼のささげ物)と、三一の神を享受すること(平安のささげ物)の両方は、燃やす事柄です。私たちは毎朝、燃やす開始を持ち、一日中、霊の中で燃やしている必要があります。それは、私たちが、自分の内側のバビロンの原則に打ち勝つためです。

<p>I. バビロン(ヘブル語は、「バベル(Babel)」)の原則は、人の能力(れんがで表徴される)によって、地から天へと何かを建て上げようとする人の努力です:</p> <p>A. 石は神によって造られますが、れんがは人によって造られ、人の発明、人の産物です。</p> <p>B. バビロンの原則にしたがって生きる人は、自分が有限であることを見ていません。むしろ、彼らは自分の天然の能力によって、人の努力で主の働きを行なおうとします。</p> <p>C. 神の建造は、人の造ったれんがで、人の労苦によって建てられるではありません。それは神の創造し造り変えられた石で、神聖な働きによって建てられます。</p>	<p>II. バビロンの原則は偽善です:</p> <p>A. アカンの罪の意義は、彼が美しいバビロンの外套をむさぼり、体裁のために自分自身を改善し、自分自身をさらに良く見せることを求めるということでした:</p> <p>B. これは、聖霊を欺いたアナニヤとサツピラの罪でした:</p> <p>1. 彼らはあまり主を愛していませんでしたが、大いに主を愛している者のように見られたかったのです。彼らは装っていただけでした。</p> <p>2. 彼らは進んですべてを神に喜んでささげたのではなく、人の前で、すべてをささげたかのように振る舞いました。</p> <p>C. 私たちは自分の実際の状態に符合しない外套を着るときはいつも、バビロンの原則の中にいます。</p> <p>D. 虚偽に行なわれて人から栄誉を受けらることは、遊女の原則の中で行なわれるのであり、花嫁の原則の中で行なわれるではありません。』</p>	<p>III. バビロンの原則は、自分自身をやもめと考えず、自分自身に栄光を帰し、ぜいたくに生きるという原則です:</p> <p>A. 墜落した信者だけが、自分自身をやもめでないと考えます。ある意味で、キリストにある信者は現在の時代のやもめです。なぜなら彼らの夫、キリストが彼らから離れているからです。私たちの愛する方がこの世にいないので、私たちの心はここにありません。</p> <p>B. 私たちの生活の中で過度であるものは何であれぜいたくであり、バビロンの原則の中にあります。</p>	<p>IV. バビロンの原則は遊女の原則です:』</p> <p>A. バビロンの目的は、人が自分自身のために名を挙げて、神の御名を否むことです:</p> <p>1. 私たちの主以外の名を取るによって召会を名づけることは、霊的な淫行こうです。</p> <p>2. 召会は、キリストに嫁ぐ清純な処女として、彼女の夫以外の名を持つべきではありません。</p> <p>B. バビロンは混乱を意味します:</p> <p>1. 私たちは召会の中で、異なる種類の語りかけを持つべきではありません。私たちは一つの務めの下で、一つの唯一の教えをもって、一つのからだのために、ただ一つの思いと一つの口を持つべきです。</p> <p>2. 私たちは自分の思いの中にいるとき、バビロンの原則の中にいます。私たちは霊の中にいるとき、今日のエルサレムにおり、その中に神聖な一があります。</p> <p>3. 私たちはどんな分裂も持つべきではありません。なぜなら、私たちの夫が一であり、私たち、彼の妻も一であるからです。</p> <p>C. バビロンの反逆的な民は、散らされました:</p> <p>1. 古代すべてのイスラエル人は一年に三度、エルサレムに共に集まって来ました。これはバビロンで散らされることに相対しました:</p> <p>a. 神に対する礼拝のこの唯一の場所、エルサレムによって、彼の民の一は各世代にわたって保たれました。</p> <p>b. エルサレムは私たちの霊を表徴するだけでなく、一の真の立場、地方の立場も表徴します。</p> <p>c. 私たちはバビロンから出て来るために、「霊の中に、立場の上に」いなければなりません。</p> <p>2. もう一つの礼拝センターを設立したヤラベアムの罪は、分裂の罪であって、王国、帝国を持って、自分の自己の願望を満たすという人の野心によって引き起こされます。</p> <p>D. バビロンは、神の物と偶像の物との混合です:</p> <p>1. バビロンの王ネブカデネザルは、エルサレムにある神の家を焼き、神の礼拝のための神の家にあるすべての器を運び去り、それをバビロンにある彼の偶像の宮に置きました。2. 新約で、この混合は大いなるバビロンをもって拡大されます。』</p>
<p>V. 啓示録における主の召しは、彼の民がバビロン、すなわち背教の召会から出て来て、召会の正統性に戻ることで:</p> <p>A. 神の御言によれば、神の子供たちは、バビロンの性質を持つどんなものにもあずかることはできません。</p> <p>B. 神は他のどんなものよりもバビロンの原則を憎みます:</p> <p>C. 中途半端で絶対的でないものは何であれ、バビロンと呼ばれます: 1. 私たちは、神が私たちに照らして下さることを必要とします。それは、私たちが彼の光の中で、自分の中にある、彼に対して絶対的でないあらゆるものを裁くためです。</p> <p>2. 私たちはこのようにして自分自身を裁くときはじめて、私たちもまたバビロンの原則を憎むと告白することができます。</p> <p>3. 主の恵みによって、主が私たちに、キリスト</p>	<p>VI. 私たちはバビロンの原則に打ち勝つために、日ごとにキリストを私たちの全焼のささげ物とする必要があります。全焼のささげ物が予表するのは、キリストが神のために、また神の満足のために完全で絶対的である生活をしたこと、そしてキリストが神の民がそのような生活をするようにする命であるということです:</p> <p>A. 私たちの全焼のささげ物としてのキリストの上に手を置くことによって、私たちは彼に結合され、彼と私たちは一になります。そのような結合の中で、私たちのすべての弱さ、欠点、落ち度は彼によって担われ、彼のすべての美德は私たちのものとなります。これは私たちに、正常な祈りを通して私たちの霊を訓練し、私たちが経験的に彼と一になることを要求します。</p> <p>B. 私たちが祈りを通してキリストの上に手を置くとき、命を与える霊、すなわち私たちが手を置くそのキリストは、直ちに私たちの内側で働き働いて、キリストが地上で生きた生活(全焼のささげ物の生活)の繰り返しである生活をします。』</p> <p>C. 全焼のささげ物が祭壇の火床の上に朝まで保たれることが表徴するのは、全焼のささげ物がこの時代の暗い夜を通して、朝まで、すなわち主イエスが再び来られるまで、焼く場所に残っているべきであるということです。</p> <p>D. 灰、すなわち全焼のささげ物の結果は、神がそのささげ物を受け入れたことしるしです。祭司が亜麻布の衣を着ることは、細やかさ、純粋さ、清さが、灰を扱うことに必要とされることを表徴します。彼が別の衣を着て灰を営所の外に運び出すことは、全焼のささげ物の灰を扱うことが威厳ある方法でなされたことを表徴します。</p> <p>E. 灰はキリストの死の結果を示し、キリストの死は私たちを終わりに、すなわち、灰にもたらします。灰を祭壇の東側、日の出の側に置くことは、復活の暗示です。全焼のささげ物に関して、灰は終わりではありません。なぜなら、キリストの死は復活をもたらすからです。</p> <p>F. 神はこれらの灰を大いに尊重しています。なぜなら最終的に、灰は新エルサレムとなるからです。私たちが減少させられて灰になることは、私たちに三一の神の造り変えへと与らします。復活の中で、灰としての私たちは造り変えられて、新エルサレムの建造のための尊い材料(金、真珠、宝石)となります。</p>		

の外でどんな栄光や尊貴も求めさせないようにしていただきますように。

4. 主が要求しているのは、私たちが絶対的な者になって、バビロンの原則の中に生きている者とならないことを喜んで求めることです。

D. 神が遊女を裁き、彼女のすべての働きを砕くとき、また彼女であるすべてと、彼女が代表する原則を捨て去るとき、天からの声が、「ハレルヤ！」と言うでしょう。』

G. 「祭壇の上の火は、その上で燃え続けさせなければならない。それを消してはならない。祭司は朝ごとに薪たぎぎをその上で燃やし、全焼のささげ物をその上に並べ、平安のささげ物の脂肪をその上で焼いて煙を立ち上らせなければならない。火は祭壇の上で絶えず燃え続けさせなければならない。それを消してはならない」:

1. 祭司が朝ごとに薪を祭壇の上で燃やすことが表徴するのは、奉仕する者が神の願いと協力し、さらなる燃料を聖なる火に加えて、神の食物としての全焼のささげ物を受け入れるために、燃やすことを強化する必要があるということです。朝は、燃やすための新しい開始を表徴します。

2. 全焼のささげ物を燃やすことは、平安のささげ物の甘さのために土台を据えました。これが示しているのは、私たちが自分自身を絶え間のない全焼のささげ物として神にささげることが、神との甘い交わりのために(平安のささげ物の脂肪を燃やすことによって表徴される)、土台として据えられるべきであるということです。全焼のささげ物と平安のささげ物の両方を燃やすことが表徴するのは、私たちが神のために絶対的であることと、私たちが三一の神を享受することの両方が、燃やす事柄であるということです。』

第一日: 創世記11:3 彼らは互いに言った、「さあ、れんがを作って、それをよく焼こう」。彼らは石の代わりにれんがを得、しっくい代わりにタールを得た。4 そして、彼らは言った、「さあ、町と塔を建てて、塔の頂を天に届けよう。そして私たちのために名を挙げて、私たちが全地の面に散らされないようにしよう」。

ヨシュ7:21 私は略奪したもののうちに、シナルの美しい外套一枚と、銀二百シケルと、目方五十シケルの金の延べ棒一本があるのを見て欲しくなり、それらを取りました。それらは今、私の天幕の中の地に隠してあり、銀はその下にあります」。

第二日: 啓示録18:7 彼女が自分に栄光を帰し、ぜいたくに過ごしてきたのと同じだけ、彼女に多くの苦痛と悲しみを与えよ。彼女は心の中で、『私は女王として座している。私はやもめではない。私は決して悲しみを見ることはない』と言っているからである。

17:5 彼女の額には、一つの名が記されていた、「奥義、大いなるバビロン、地の遊女どもと忌むべきものの母」。

第三日: 啓示録3:8 私はあなたのわざを知っている。見よ、私はあなたの前に、だれも閉じることのできない門を開いておいた。なぜなら、あなたは少しばかりの力を持っていて、私の言を守り、私の名を否まなかったからである。

17:4 その女は紫と緋色の衣をまとい、金と宝石と真珠とで身を飾り、手には忌むべきものと、彼女の淫行の汚れた物で満ちた金の杯を持っていた。

第四日: 啓示録18:2 …彼は、力強い声で叫んで言った、「倒れた！ 大いなるバビロンは倒れた！ そして、彼女は悪鬼どもの住みか、あらゆる汚れた霊の巣くつ、あらゆる汚れた憎むべき鳥の巣くつとなった。4 私はまた、天からもう一つの声がこう言うのを聞いた、「私の民よ、彼女から出よ。それは、あなたがたが彼女の罪に加わらないためであり、また、あなたがたが彼女の災害を被らないためである。

19:1 これらの事後、私は、天で大群衆の大声のようなものが、こう言うのを聞いた、「ハレルヤ！ 救いと栄光と力とは、私たちの神のものである。

第五日: レビ記1:3 その人のささげ物が、牛の群れからの全焼のささげ物であるなら、彼は傷のない雄を献ささげなければならない。それを集会の天幕の入り口で献げて、彼がエホバの御前に受け入れられるようにしなければならない。4 彼はその全焼のささげ物の頭の上に手を置かなければならない。そうすれば、それは彼に代わって受け入れられて、彼のために罪を覆う。

第六日: ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

レビ記6:9 …『全焼のささげ物の規則は次のとおりである。全焼のささげ物は祭壇の火床の上に、夜通し朝までであるようにし、10…祭司は、亜麻の衣を着て、…祭壇の上の火で焼き尽くされた全焼のささげ物の脂肪の灰を取り上げて、それを祭壇のそばに置かなければならない。12 祭壇の上の火は、13…祭壇の上で絶えず燃え続けさせなければならない。それを消してはならない。

《預言ノート》

経験①:バビロンの原則、偽善、虚偽から救われる

新約において召会が始まった後、最初に罪を犯したのは…アナニヤとサツピラでした。…彼らは聖霊に対して偽ったのです。彼らはあまり主を愛していませんでしたが、大いに主を愛している者のように見られたかったのです。彼らは装っていただけでした。彼らは進んですべてを神に喜んでささげたわけではありませんでした。しかしながら、彼らは人の前で、すべてをささげたかのように振る舞いました。これがバビロンの外套です。

ですから、バビロンの原則は偽善です。実際がないのに、人々は人から栄光を得ようとして、実際があるかのように振る舞うのです。ここに神の子供たちに対する真の危険があります。それは霊的であるように装うことです。虚偽に演じられる霊的振る舞いが非常に多くあります。それはうわべだけのものを装うことです。多くの長い祈りは偽物です。多くの祈りの口調は非現実的です。…私たちは自分の実際の状態に符合しない外套を着るときはいつも、バビロンの原則の中にいます。

神の子供たちは、人からの栄光を受けるためにどれほど多くの虚偽を装ってきたか知りません。これは花嫁の態度とは正反対です。虚偽に行なわれるあらゆることは、遊女の原則の中で行なわれるのであり、花嫁の原則の中で行なわれるものではありません。神の子供たちが人の前で装うことから救い出されるなら、それは大きな事柄です。

私たちは召会の中で人の栄光や人の地位に目を留めるなら、バビロンの外套の罪と、アナニヤとサツピラが犯した罪に加わっているのです。偽りの献身も罪です。また偽りの霊性も罪です。真の礼拝は、霊と真実の中にあります。どうか神が私たちを真の人にしてくださいように。

在職青年編

日本の文化は外見や体裁を繕うことに過度に注意を注ぎます。体裁を繕うことに注意を払い過ぎると、内側の実際が軽視されがちで、バビロンの原則である虚偽に繋がります。例を挙げると、日本人が会社でプロジェクト・マネージャーとして多くの人たちと共に仕事に携わる時、前例があるかどうかや反対があるかどうかで判断しがちです。これらの要素は大切なものではありませんが、本質的な要素ではありません。その結果、プロジェクトの本質を見極めないで、革新的なアプローチや本質を突いたアプローチをすることができません。

ビジネスにおけるサクセス・ストーリーを検証すると、ほとんどの場合、そのプロジェクト・リーダーは、前例にとらわれることなく革新的なアプローチで、新しいマーケットを生み出し、プロジェクトを成功させました。

例えばプロ野球界では、数年前まで、お金を掛けない球団はやっていけないというのが常識でした。しかし昨年日本一になった日本ハム、2年連続セ・リーグで優勝した広島、今年セ・リーグ3位でクライマックス・シリーズで勝ち上がったDeNAは、お金の掛からない球団運営を成功させています。これらの球団は、お金を掛けずに試合に勝ち、しかも黒字経営にするためにどのようにすればいいのかということの本質的に考えました。特にDeNAと広島は、選手の平均年棒が非常に低いのですが、試合に勝ち、観客を多く集めています。

ビジネス・パーソンとしてあなたは、会社の仕事と召会の奉仕の両方で、バビロンの原則、特に偽善、虚偽、体裁を繕うことに過度に注意を払うことから救われる必要があります。主の御名を呼び、霊を活用し、思いを霊に付けて次のように祈って下さい、「主イエスよ、あなたは虚偽、偽善を忌み嫌われます。しかし私が日本の文化に従って生きると、無意識のうちに体裁を繕うことに過度に注意を払ってしまいます。その結果、反対を避けることに注意を払いすぎて本質を見失い、迷路に入ってしまいます。私を日本の文化から救ってください。私が霊に従って歩き、前例にとらわれず本質をとらえた革新的なアプローチをすることができすように。職場において、キリストを生き、知恵と力を表現する社員になることができますように。主の御名の中で祈ります。アーメン！」

経験②:バビロンの原則に打ち勝つために、中途半端であることを対処する

神は他のどんなものよりもバビロンの原則を憎みます。私たちは自分の存在のどれほど多くが依然として神に対して絶対的でないかを神の臨在の中で認めなければなりません。中途半端で絶対的でないものは何であれ、バビロンと呼ばれます。私たちは、神が私たちを照らしてくださることを必要とします。それは、私たちが彼の光の中で、自分の中にある、彼に対して絶対的でないあらゆるものを裁くためです。私たちはこのようにして自分自身を裁くときはじめて、私たちもまたバビロンの原則を憎むと告白することができます。主の恵みによって、主が私たちに、キリストの外でどんな栄光や尊貴も求めさせないようにしてくださいように。主が要求しているのは、私たちが絶対的な者になって、バビロンの原則の中に生きている者とならないことを喜んで求めることです。

全焼のささげ物は、キリストが神の満足のために絶対的であることを意味します。甘さ、平安、安息をもって神を満足させる方法は、神に対して絶対的である生活をするということです。私たちはそのような生活をするのができないので、キリストを私たちの全焼のささげ物としなければなりません。私たちは彼の上に手を置いて、彼と一体化され、彼と一になり、彼が地上で生きたような生活をするを願うことを示す必要があります。そのような生活は、ほふられ、皮をはがれ、各部位ごとに切り分けられ、洗われることを含みます。このすべての過程を経過することによって、私たちは、私たちの全焼のささげ物としての何かを持って神にささげます。それは私たちが経験したキリストです。

中高生編

あなたは先生、両親、クラスメイトなどの話を中途半端に聞き流すのではなく、注意深く聞いてください。真剣に聞くとは、何でも鵜呑みにすることではありません。そうではなく、彼らが何を言っているのかをよく聞いて、判断することです。良い人間関係を構築する基礎は、人の話をよく聞き、彼らが何を言っているのかを理解し、付き合っていくべきかどうかを判断することが基本になります。人の話を中途半端に聞く人、最後までしっかりと話を聞かない人は、彼らが何を言っているのかを理解しないので、正しく判断することもできません。その結果、良い人間関係を築くことはできません。

あなたは若い時から人の話を最後までしっかりと聞く訓練をしてください。このことは次の事において大きな益をあなたにもたらします。

- i) 聖書が何を言っているのかよく理解し、御言葉に基づいて主と交わることができます。多くの場合、あなたが聖書を読む時、自分の先入観にしたがって読んでおり、聖書の中の事実をしっかりと読み出すことができていません。そうであれば神の意図があなたに伝わらないので、あなたは主と御言葉に基づいて交わることができません。
- ii) 将来あなたが就職したり、大学院で研究したりする時、あなたの上司あるいは指導教授とよくコミュニケーションを取らなければなりません。中途半端にしかコミュニケーションが取れない人は、決して有能な人材になることができません。
- iii) 将来あなたは結婚すべきです。配偶者はあなたの補完であり、助け手です。しかし配偶者とよくコミュニケーションを取ることができなければ、あなたは補完されただけでなく、配偶者を邪魔者であると考えてしまうでしょう。健康な結婚生活を建てるために、必ず人の話をしっかりと聞くことを訓練しなければなりません。

中途半端で絶対的でないものは何であれ、バビロンと呼ばれます。あなたは、神の照らしを必要とします。それは、あなたが主の光の中で、自分の中にある主に対して絶対的でないあらゆるものを裁くためです。あなたはこのようにして自分自身を裁くときはじめて、バビロンの原則を憎むと告白することができます。主の恵みによって、あなたが、キリストの外でどんな栄光や尊貴も求めることがありませんように。あなたがキリストを生きて、神に対して絶対的な生活をすることができますように。アーメン。

補504番

- 1 バビロンを経て、エルサレムに来た。
いちをあかし、栄こうかみに！
きょう理、意見捨て、霊のいちまもり、
われらみないる、地方しょうかいに。
(復) ハレルヤ！ハレルヤ！
ひとつおもいで、からだ建ぞうす。
ハレルヤ！ハレルヤ！
地方召会のなかに生きる！
- 2 かいふくのため、さい司がひつ要。
キリスト生きて、栄こうかみに！
主にしん透され、主にあり生きて、
けんぞうされる、地方しょうかいに。
- 3 神せいな權威の おうしょくを見る。
われらはふくす、栄こうかみに！
しょうかいのため、その霊にふくす、
これぞひつよう、地方しょうかいに。
- 4 さいだんに来て すべてをささげ、
はんさいとなる、栄こうかみに！
言いわけもなく かん全にふくす。
ほかに余地なし、地方しょうかいに。
- 5 土だい据えられ、えい光あらわる！
かん喜たかまる、栄こうかみに！
大いなるさけび、ひびきわたって、
てきぜんめつす、地方しょうかいに。

中補 507

1. 聚集在耶路撒冷，完全脱离巴比伦，
我们作合一见证，哦，愿荣耀归给神！
摒弃各样的教训，放下一切的异议，
竭力保守灵合一，在众地方召会里。
(副) 阿利路亚！阿利路亚！
我们都同心合意，建造基督的身体。
阿利路亚！阿利路亚！
我们如今活在地方召会里。
2. 为使恢复能继续，祭司体系乃所需，
惟此才蒙神称许，哦，愿荣耀归给神！
祭司神前过生活，完全被主浸透过，
如此建造神居所，在众地方召会里。
3. 我们眼睛须开启，看见君王的治理，
神圣权柄得建立，哦，愿荣耀归给神！
为使召会得益处，先决条件要守住—
完全向圣灵顺服，在众地方召会里。
4. 我们须就近祭坛，将一切全都奉献，
如此事奉理当然，哦，愿荣耀归给神！
对此我们无争辩，绝对摆上心甘情愿，
召会合一得实现，在众地方召会里。
5. 现今根基已立定！哦，何等荣耀显明！
我们都快乐高兴，哦，愿荣耀归给神！
让我们大声欢呼，将声音传到远处，
并将仇敌全灭除，在众地方召会里。

Hymn 1251

1. To Jerusalem we've come,
We are through with Babylon,
We have gathered to be one,
O glory be to God!
Of the teachings we're bereft,
All opinions we have left,
Spirit from the soul is cleft,
In the local churches now.
(C) Hallelujah! Hallelujah!
We are all in one accord
For the building of the Lord.
Hallelujah! Hallelujah!
We are living in the local churches now!
2. That recovery may proceed
Real priests are what we need—
Those who live in Christ indeed,
O glory be to God!
Saturated with the Lord,
They have Christ as their reward.
These the building work afford
In the local churches now.
3. And the kingship we must see
With divine authority—
To this rule we'll all agree,
O glory be to God!
To the Spirit we'll submit
For the church's benefit—
This is His prerequisite
In the local churches now.
4. We the altar must obtain,
Have our all upon it lain.
The burnt-offering must be slain,
O glory be to God!
This we never should dispute,
For the church be absolute,
All that's otherwise uproot
In the local churches now.
5. The foundation now is laid—
O what glory doth pervade!
We are all with joy arrayed,
O glory be to God!
Let us raise a mighty shout—
They will hear us far without,
And the enemy we'll rout
In the local churches now.